



インタビュー いしかわ事業者版環境ISO優良活動表彰事業所

お客様・従業員にも、環境にもやさしい旅館へ

ゆのくに天祥(株式会社ホテルゆのくに) 代表取締役社長 新滝 英樹さん



環境への取り組みを語る「ゆのくに天祥」新滝社長

石川県では、企業や団体が事業活動の中で環境に配慮した活動を継続的に行うための本県独自の環境マネジメントシステムとして、「いしかわ事業者版環境ISO」登録制度を策定し、現在、700を超える事業所が取り組んでいる。平成27年度いしかわ事業者版環境ISO優良活動表彰事業所となった「株式会社ホテルゆのくに」代表取締役社長の新滝英樹さんにお話を伺った。

**Q** 「ゆのくに天祥」では、電気や燃料等の使用による環境負荷を抑えるために、どのような取り組みを行っていますか。

**A** LED照明やインバーター空調、高効率ボイラーなどの省エネ設備の導入を進めているほか、目



エネルギーミーティングの様子

標とする使用電力の最大値に近くと警報で知らせるデマンドコントロールシステム(電力使用抑制システム)や、館内の電気や水の使用量を「見える化」するエネルギー監視システムを活用することにより、環境負荷の抑制に取り組んでいます。また、毎月、従業員や取引業者が参加する「エネルギー

ミーティング」において、環境負荷を抑制するための課題や対策について話し合いを行っています。

**Q** 北陸新幹線が開業し、環境負荷を抑えつつも、旅館業としてのサービスのレベルは維持・向上しなければならぬと思いますが、これを両立させるために工夫されていることはありますか。

**A** 一例ですが、従業員の制服に真夏用の着物を導入しています。導入前は、春夏用と秋冬用の2種類の着物でしたが、春夏用の着物だと真夏の時期は暑く、従業員のために冷房の温度を低めに設定し、お客様が寒く感じられることがありました。そこで、通気性の良い真夏用の着物を導入することで、従業員もお客様も快適に過ごすごとができるだけでなく、環境負荷の抑制や経費の節減につながることができました。

**Q** これらの取り組みによる効果

は、どのように表れていますか。

**A** 平成26年は、平成21年と比較して、水使用量約35%、電気使用量約12%、重油使用量約27%、二酸化炭素排出量では約18%(994トン)の削減に成功しました。この削減効果は当初の想定以上で、環境負荷の大幅な抑制とともに、光熱水費の削減による経営体質の強化にも大きく寄与し、また、先ほど紹介しました省エネ設備の導入は、お客様の快適性や従業員の意識・意欲向上につながり、「一石四鳥」の取り組みとなっています。今後も、社を挙げて、環境負荷抑制に向けた取り組みを積極的に進めていきたいと考えています。



ゆのくに天祥(加賀市山代温泉) TEL:0761-77-1234

昭和38年開業。株式会社ホテルゆのくに経営。和洋室156室(700名収容)、温泉施設、プール、宴会場、会議施設、駐車場完備。関連施設「加賀 伝統工芸村ゆのくにの森」。